

# ジャパングラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

## 11月度理事会報告

### 講演会「信託と贈与の基礎」開催さる

総領事館主催 邦人安全対策連絡協議会 (報告、関連する一部) 緊急事態における安否確認

11月7日(土)行われた11月度理事会には8名の理事が参加され、下記の点に付いて討議がなされました。

- 1) 沖山理事に依る会計報告は9月30日現在の“calendar basis”と7月1日より9月30日迄の“Fiscal year basis”の提示がありいずれも全員一致で承認された。  
なお、会計年度と事業年度を合わせる為には「会計年度変更願い」を提出しなければならないが、その手続きについてCPAに問い合わせる事になりました。
- 2) 去る10月25日(日)午後1時よりサンフランシスコ日米会会議室にて開催された原田志麻公認会計士による“信託と贈与の基礎”と題する講演会は昨年同様好評で特に“Living Trust” 関連では多数の質疑応答があり、更にこのような講演会の開催を望む声もありました。また FinancialAdvisor を招いて講演会を開催する事も話題に上がり、時期と可能性、更に会員の要望などを調べた上で検討する事になりました。

- 3) 2016年度総会と新年会を兼ねた集いを2016年1月31日(日)(第5日曜日)午前11時より総会、引き続いて新年会をサンフランシスコ桑港寺社交室にて執り行う事で最終的に決定した。新年会用の特別お弁当/慣例の粕汁、そしてゲーム、余興等の最終決定は12月と1月の理事会で決定する事になりました。

また、シュミット理事から太巻き寿司作りを日本文化の紹介の一つとして、昨年からコラボレーションで交流のあるさくら学園からの参加を求め参加者の前で実際に巻いてみせる事の提案があり、これ承認し、この作られた太巻きはそのまま新年会の食事の一部として提供される事になりました。詳細は1月の理事会でシュミット理事が中心になって決定されます。

- 4) 去る10月26日に総領事館主催に依る邦人安全対策連絡協議会に於る注意事項(世界各地で発生している対テロ対策)の説明。(2面に抜粋記事があります)

12月理事会は12月5日(土曜日)午後4時より予定。

場所はサンマテオ楳木マーケット2階。 事務局(大隅敏男)

## 川柳を作ってみませんか?

先月号の呼びかけに対し、すでに多くの川柳が寄せられているとの事です、貴方も奮ってご応募ください

川柳はく五・七・五>17音の短い定型詩です、俳句も同じく五・七・五ですが、俳句に求められる季語(季節を表す言葉)やその他の細かい規則が無く、もっと自由にできるのではないのでしょうか。最初から堅苦しく考えず、日頃思っている事、見た事、感じた事を気楽に楽しむ気持ちで作句してみてもいいかもしれません。

**雑詠・兼題(里)：**雑詠(ざつえい)とは特に題を決めずに自由な題材で作る事、これに対して兼題(けんだい)は題を予め決めて作る事です。今回の兼題は“里”(さと)です。

**予定：**初めての試みですので、締め切りを12月末日として、雑詠、兼題を各一句ずつ(あるいは何れかを)奮ってご投句ください。新年会の席でお披露目します。

**送り先は：**シュミットまり子

郵送：1533 Fieldcrest Dr. Pleasant Hill, CA 94523

電話：925-228-7170

電子メール：sakura\_7170@yahoo.co.jp

ご質問などのお問い合わせも上記アドレスをお願いします。

**参考例：**(そうわん川柳より)

雑詠

老春の ポッケに温い 花の種  
この頃は 酒も飲まずに 千鳥足

兼題 “虫”

涼しげに 鈴虫庭で 秋を告げ  
腹の虫 丸く収めて うまい飯

## 覚者のおもい

“ずいぶん以前に新聞から切り抜いたコラムを送ります、「なるほど」と感銘したので切り抜いておいたものです、わからんということがしみじみわかるようになったらいいですね。” と言って理事会員のシュミットまり子さんからいただきました。

人間の生命の不思議に比べたら、人工衛星なんてものの数にも入らない。人工衛星は組み合わせが複雑なだけで、原理は100%わかっている。が、人間はそうではない。「私も87歳になりますが、わからんということがしみじみわかる。いよいよ人生がおもしろくなりますね」「人生は、そんなにわからんことがあるほど奥深いものか、と改めて感動を覚えますね」(「現代の覚者たち」\*注1)。これでは退屈する暇もない。平沢さん\*注2 はいっている。「五十六花盛り、七十八実がなつて、九十百歳熟れ盛り」。

\*注1 「現代の覚者たち」の著者7人(森信三(哲学者)、鈴木鎮一(才能教育研究会会長)、三宅廉(パルモア病院院長)、坂村真民(仏教詩人)、関牧翁(天龍寺管長)、松野幸吉(日本ビクター相談役)、平澤興(京都大学元総長)人生の示唆に富んだ本。 致知出版社

\*注2 平澤興(ひらさわ こう)1900年10月5日~1989年6月17日、医学者、京都大学元総長(1957~1963)

去る10月25日開かれた原田志麻公認会計士による第2回講演会は

## 「信託と贈与の基礎」のテーマで開かれ18名が参加して熱心にメモを取っていました。



今回も原田講師の用意された資料に基づいて大変判り易い説明が順序よなされ、その都度参加者からは疑問や質問が活発に出されて意義のある講演会になりました。

前回同様に好評でしたので皆さんの希望などをまとめてこの様な機会を増やせたらと思っています。どうぞご希望・質問などお寄せください。

ご質問などのある方は直接原田講師にお問い合わせください  
(ジャパンクラブでもお取り次ぎします)

原田志麻講師の連絡先は:

Shima Harada, CPA

・電話:415-771-1010 ・shima@shcpaco.com です

領事館主催で去る10月26日開かれた

## 邦人安全対策連絡協議会 の中で私達にも深く関係する部分を要約してお伝えします

総領事あいさつに続いて・バングラデシュ邦人殺害事案の概要・最近のテロ情勢・海外安全情報の収集要領・緊急事態における安否確認・質疑応答と続き、この中でテロ事件に関して中東・アフリカ地域だけでなく、世界各地でテロが起こりうる環境となっている事、更に日本人が標的にされる危険性が今迄以上に高まっている事などが説明された。またこれらの危険を回避する為に常に高い警戒心の保持のもと、テロの脅威の再認識と独自の安全対策の構築が必要であり、その一助として外務省・海外安全HPや各在外公館HPなどを活用して情報収集を計る様心がける。

例えば、「海外安全アプリ」はスマートフォン向けの安全情報配信サービスが受けられる、目的は海外で自然災害やテロなどの事件が発生し、日本人が巻き込まれるケースが後を絶たないことから、海外にお住まいの方や海外旅行や海外出張されている方に、海外安全情報をより身近にご利用いただくために開発し、2015年7月1日に公開、このダウンロード先のURLは [http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_kaian\\_app.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html) です、一度確認してみてください。

そして私達ジャパンクラブも力を入れている緊急事態に於ける安否確認(会員同志の相互扶助)について、領事館のこの事態に対する備えの説明と協力依頼がありました。

### 1 緊急事態に備えて

◆当館においては、大規模な災害、テロ事件等の緊急事態発生に際して、邦人援護業務を迅速かつ的確に対応できるよう諸準備を継続実施中。

【平時における取り組み】

○「在留届」「たびレジ」の登録促進

緊急事態発生時の基礎資料であり、様々な機会を通じて登録を促進

○「総領事館からのお知らせ」の発出

在留邦人の安全に係わる事案に関して、適宜メール等で注意喚起

○「在留邦人安全対策協議会」の開催

適宜、治安情報の相互提供や意見交換を実施

○「安全の手引き」の作成

平素からの安全対策及び緊急事態への対応を記した「安全の手引き」について、定期的に見直しを行い、毎年1回改訂版を配布

○緊急連絡先の整備

情報提供が迅速に行えるよう各組織・団体等の緊急連絡先を整備

会員の皆さんもこの機会にもう一度、大規模災害やテロ事件発生時の対処方法を考え、家族で話し合ってみてください。

### 2 緊急事態発生時に於ける流れ

○災害・テロ事件等の発生

大地震、大規模な事故、テロ事件、等

○館員の参集と「現地対策本部」の設置

安否照会受付:415-780-6018~6023

○現地対策本部の主な任務

・災害等の規模及び被害程度の概要把握

・第二次被害、危険個所、立入禁止措置等に関する情報収集

・邦人の安否及び被害状況の把握

・被害邦人に対する援助、助言

・被害者家族対応

・各種情報の外部への提供、プレス対応

### 3 邦人の安否確認の流れ

(1) 安否照会受付

照会窓口において、在留邦人等に関する安否照会を受付

○確認済 → 照会者に安否を通報

○未確認 → 安否調査へ

(2) 安否調査

確認できない方に関する調査を実施し、安否を確認

○企業・団体関係者 → 各企業・団体へ安否確認を依頼

○その他の者 → 総領事館が独自に調査

最後に、以上の領事館としての対応に加え、「緊急事態における皆さんのご協力をお願い申し上げます」との事でした。

【外務省領事サービスセンター】

~海外における安全問題に関する問い合わせ(窓口・電話)

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

(代)03-3580-3311(内線2902,2903)/(直)03-5501-8162

※ 9:00~12:30,13:30~17:00(土・日・祝祭日を除く)

【各国在外公館のホームページ等】

◆ 在SF日本国総領事館:

<http://www.sf.us.emb-japan.go.jp> + Facebook「在SF日本国総領事館」

◆ 在米国日本国大使館: <http://www.us.emb-japan.go.jp>

◆ 在LA日本国総領事館: <http://www.la.us.emb-japan.go.jp> など

【公安調査庁ホームページ】世界のテロ等発生状況:

<http://www.moj.go.jp/terrorism.html>